

文教大学情報学部 社会調査Ⅲ 研究報告

LINE の利用時間差要因

2014年2月1日

情報学部広報学科

上原 俊也

目次

第1章 調査研究の概要	
1.1 調査研究の目的と背景	1
1.2 調査に関する状況	2
1.3 調査研究の方法	5
1.4 成果の概要	6
第2章 調査研究の成果	
2.1 調査回答者の概要	8
2.2 利用状況	9
2.3 トーク内容	13
2.4 LINEのメリット・デメリット	15
2.5 その他の特徴	17
第3章 まとめと今後の課題	
3.1 まとめ	20
3.2 今後の課題	21
参考文献	21
調査の単純集計結果	22

第1章 調査研究の概要

1. 1 調査研究の目的と背景

2011年6月23日にサービスをスタートしたアプリケーション「LINE」。スマート端末の普及に伴いLINEユーザーは今もなお急増している。

今までのSNS (Twitter や Facebook など) では「プライバシーに関わるコミュニケーションツール」として適していなかった。そのデメリットをLINEが上手く補ったといえる。LINEの出現によって、コミュニケーションの形は大きく変化し、携帯電話の電話やメール機能を利用するよりもLINEを利用する生活者が増加した。また、最大100人でグループトークができるようになり、リアルタイムで大人数の話し合いが可能になった。LINEの主な収入源であるスタンプの利用者も増え、スタンプだけで会話をを行う非言語コミュニケーションも見られるようになった。さらに、LINEの特徴の一つである「既読」表示機能は、相手が自分のトークを読んだのかを確認するための機能としては便利な反面、既読をつけてしまったからには返事を返さなくてはいけないというプレッシャーを感じるユーザーも増えてきている。「SNS疲れ」などと叫ばれているように、いつでもどこにいてもコミュニケーションが可能になったことによって相手に気を使わざるをえないコミュニケーションが生まれていることが見て取れる。

現在、若者のほとんどがLINEを利用していると言っても過言ではない。利用率は人それぞれであり、長時間利用しているユーザーもいれば、短時間しか利用しないユーザーもいる。そこで、LINEの主なユーザーである若者（大学生）層を調査対象とし、LINEの何がヘビーユーザーとライトユーザーをあらしめているのか。両者のコミュニケーションの違いはどこにあるのかを調査で検証したい。

1. 2 調査に関する状況

(1) LINE の歴史

- 2011年 6月 サービススタート。
- 2011年 10月 音声通話機能が搭載され、ダウンロード数は300万を突破。
- 2011年 11月 タレントのベッキーさんを起用したTVCMが放送。
わずか4か月半で500万ダウンロードを記録。
- 2012年 4月 「スタンプショップ」を世界同時公開し、動画・音声メッセージも送信可能に。
ユーザー数は国内1300万人、世界3000万人。
- 2013年 1月 ユーザー数が世界1億人に突破。
- 2013年 7月 ユーザー数が世界2億人に突破。

(2) LINE 概要

a. 簡単

スマートフォン／携帯電話のアドレス帳を自動で読み込み、LINEの友だちリストに登録。メールアドレスを知らなくても簡単にメッセージを送ることが可能。

b. 安心

会話は、会話の相手もしくはグループの仲間にはしか通知されないため、安心して会話を楽しむことができる。

c. 全機種、全キャリア対応

スマートフォンはもちろん、携帯電話、全てのキャリアに対応しているため、誰とでも気軽にコミュニケーションを楽しむことができる。

d. グループコミュニケーション

1グループあたり最大100人まで登録可能（1人当たりの参加グループ数は無制限）。テキストだけでなく画像や位置情報を送ることができるため、友達との待ち合わせの連絡やイベント写真の共有にも最適。

e. リアルタイム

メッセージを送付すると即座にプッシュ形式で相手に通知され、リアルタイムに会話を楽しむことができる。もちろん後でまとめてメッセージを確認することも可能。

(3) 文献データ

a. 『大学生の半数近くが「LINE 疲れ」感じる、「既読」でプレッシャーも』

- ・ 「既読が相手に分かるので返事をしなければ悪いと思う」という人は71.4%に上り、ジャストシステムでは「既読によってやりとりを続けなければならないプレッシャーを感じている大学生が多い」と分析している。
- ・ 「LINE のトーク利用で疲れを感じることもある」人は45.7%と、半数近くが「LINE 疲れ」を感じていた。その一方で、「LINE 疲れ」で利用機会が減ったかという質問には、76.7%が「あてはまらない」と答えており、ジャストシステムは「疲れを感じながらも利用はやめられないのが現状」とみている。
- ・ 1日にトークする人数で最も回答が多かったのは「1~2人」で39.2%。「6人以上」は15.1%だったが、年齢別では18歳で23.1%と他の年齢と比べて割合が高く、学年が上がるにつれて低くなる傾向が見られた。「特定の1人」という人は9.5%だったが、18歳では5.5%と他の年齢に比べて割合が低く、学年が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られた。
- ・ 過去に購入した有償スタンプの数では「購入したことがない」が86.8%で最も多く、「1~5種類」が12.2%、「6種類以上」が1.0%。このほか、「すべてのスマートフォンアプリの中で最も利用するのはLINE」と回答した人は29.7%だった。

b. 『大学生に聞く、LINE の「既読」どう思う？』

- ・ スマホで利用するアプリのうち、LINEは何番目によく使うのだろうか。この質問に対し、「1番目」(29.7%)と答えた人が最も多く、次いで「2番目」(25.7%)、「3番目」(19.2%)という結果に。年齢別で見ると、18歳では42.9%の人が「1番目」と回答しているのに対し、

23歳では9.1%にとどまった。

c. 『通話アプリを使う人のうち、80%以上がラインをもっともよく使う』

- ・ ラインなどの音声通話アプリを使うと答えた220人に、どのアプリを使って音声通話をしたことがあるか聞いたところ、「LINE」が94.1%ともっとも多く、「skype」が35.0%、「カカオトーク」が7.7%、「comm」と「viber」が各5.0%、「050plus」が3.6%だった。次にそのアプリのどれをもっともよく使うか聞いたところ、「LINE」が183人(83.2%)、「Skype」が29人(13.2%)、「050plus」が5人(2.3%)、「カカオトーク」が2人(0.9%)、「comm」が1人(0.5%)だった。

文献データからも見て取れるように、大学生のほとんどがLINEを利用しており、利用時間も人によって大きく分かれている。また、コミュニケーションの形も様々である。(例えば1対1のトーク、グループトーク、そのグループトークの人数、特定の人とのトーク、スタンプの使用、既読機能によるプレッシャーなど。)

LINEの利用頻度とコミュニケーションの形には関連があると言えるだろう。近年SNS疲れや、LINEによるトラブル等が発生しLINEによるコミュニケーションが問われていることなどからも、検証する価値がある題材である。

1. 3 調査研究の方法

(1) 進捗経緯

- 5月～7月 : 調査テーマ討論、文献による情報収集、仮設作成
- 8月 : 調査コンセプト、仮調査票作成
- 9月 : 調査コンセプト討論、調査票の検討、仮設の検討
- 10月 : プリテスト実施、調査票最終版作成、調査実施
- 11月 : 単純集計結果報告、分析・集計結果報告
- 12月 : 分析・研究報告書作成

(2) 調査の概要

a. 調査の意図

LINE のライトユーザーとヘビーユーザーの特徴について調査する

b. 調査対象者

- ・文教大学湘南キャンパス学生(1～3年生)

c. 調査方法

- ・授業時間内に配布・回収

d. 主な質問項目

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ・利用している携帯電話 | ・LINE メリットデメリット |
| ・利用しているスマートフォンアプリ | ・LINE に対する意識 |
| ・LINE 利用(有無・期間・時間) | ・サークルまたは部活動所属(有無・人数) |
| ・1対1 グループトークについて | ・性別 |
| ・トーク相手 | ・世帯状況 |
| ・有料スタンプ購入数 | ・学年 |
| ・LINE 機能の利用度合 | ・学科 |

e. 配布数と回収数

配布数 110 回収数 93

1. 4 成果の概要

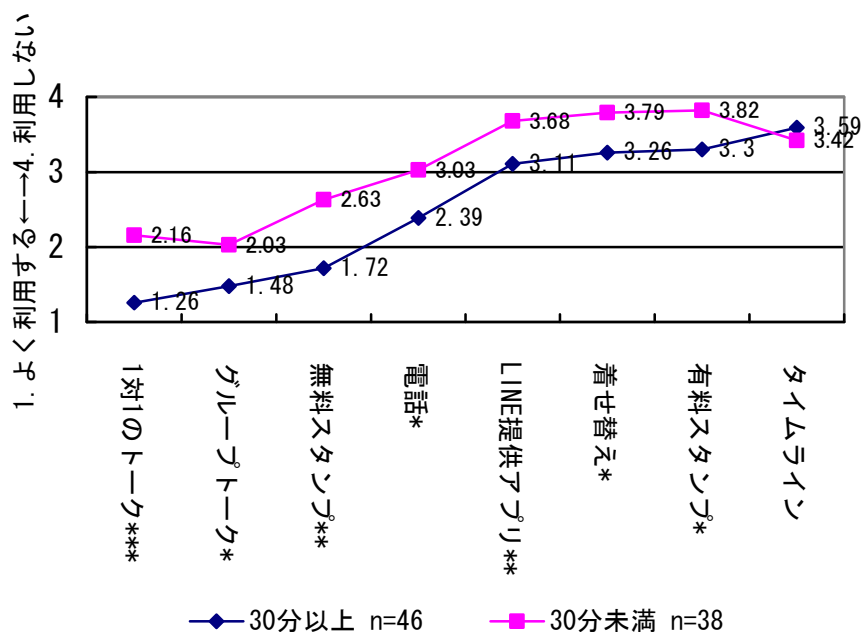
(1) 主な成果

a. LINE 機能の利用状況

LINE の利用機能 8 個を設定し、「1.よく利用する」～「4.利用しない」の 4 段階で回答を得た。LINE 利用時間が「30 分未満」と「30 分以上」の各グループの平均で各機能の利用度合を調べ、LINE 利用時間と利用機能の関係性を分析したものが図 1-4-1 である。

結果は、タイムライン以外の各機能が「30 分未満」のグループよりも「30 分以上」の方が利用する傾向にあることが分かった。タイムライン以外の機能すべてにおいて、グループ間に有意差が見られた。また、この図から、両グループ間の利用差は、特に利用度合いの高い「1 対 1 のトーク」、「グループトーク」、「無料スタンプ」の 3 機能の差であることが分かる。

図 1-4-1 LINE 利用時間と機能利用度合

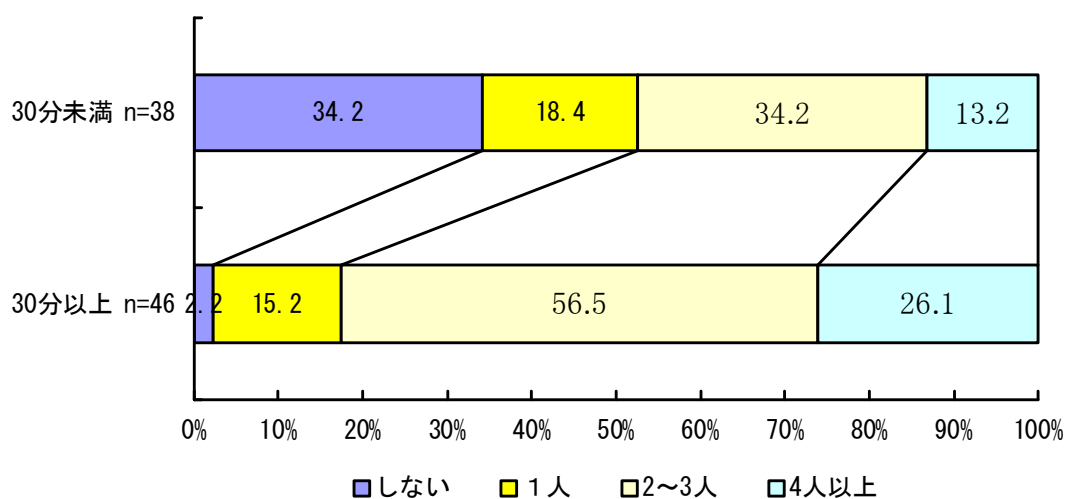


(2) その他の成果

a. LINE の利用時間と1日の1対1トーク人数

LINE 利用時間と1日の1対1トーク人数の関係を示したものが図1-4-2である。LINE 利用時間が30分未満のグループと、30分以上のグループでは、1日の1対1トーク人数に有意差がある。30分未満のグループでは、「しない」、「2～3人」がともに約34%と最も高いのに対し、30分以上のグループでは、「2～3人」が約56%と最も高く、次いで「4人以上」が約26%であった。また、30分未満のグループで最も高い割合を示した「しない」が30分以上のグループでは約2%と最も低い割合であった。LINE 利用時間が短い人ほど1日の1対1トーク人数が少なく、LINE 利用時間が長い人ほど1日の1対1トーク人数が多いことが分かる。

図1-4-2 LINE利用時間と1日の1対1トーク人数 (χ^2 乗:**)



第2章 調査研究の成果

2. 1 調査回答者の概要

調査は文教大学湘南校舎の生徒に協力を得て行った。

なお回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。表2-1-1学年別の分布では、1年生が過半数であり、次に2年生、3年生と続く。4年生は0人で、1年生が主な対象者となっている。また、表2-1-2の性別の分布では、母集団の男女はほぼ均等であるが、回答者は若干男子の割合が高くなっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均値などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられている。

表2-1-1 回答者と母集団の比較

	1年	2年	3年	4年	計
回答者	48.4 (45)	32.3 (30)	19.4 (18)	0 (0)	100.0 (93)
湘南キャンパス 学生	25.3 (885)	24.8 (869)	22.9 (800)	27.0 (943)	100.0 (3497)

(注) 母集団は情報学部 2013.10 末時点である。

表2-1-2 回答者と母集団の比較

	男子	女子	計
回答者	62.4 (58)	37.6 (35)	100.0 (93)
湘南キャンパス 学生	48.9 (1710)	51.1 (1787)	100.0 (3497)

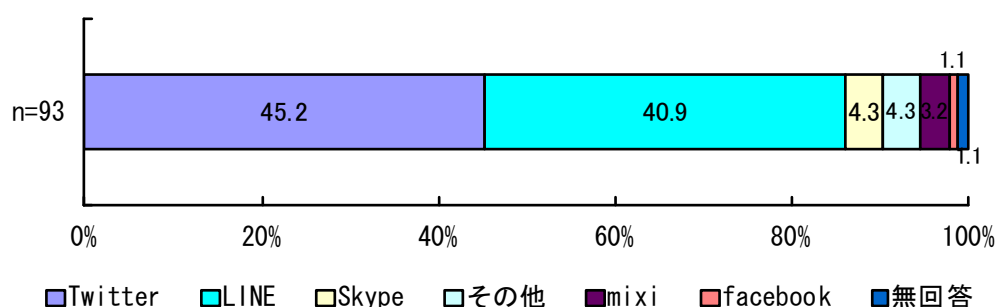
(注) 母集団は情報学部 2013.10 末時点である。

2. 2 利用状況

(1)LINE と他のアプリケーション利用状況

文教大学生が最も利用しているアプリケーションを示したものが図 2-2-1 である。Twitter が約 45%と最も高く、次いで LINE が約 40%、Skype、mixi、Facebook と続く。Twitter と LINE の割合が極めて高く、両者がコミュニケーションツールの主力であると考えられる。

図2-2-1 最も利用するアプリケーション



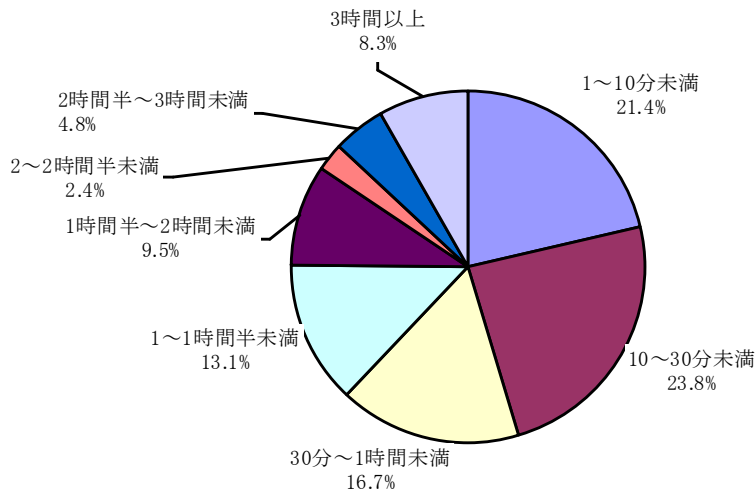
(2)LINE の利用状況

文教大学生の LINE の利用率は、利用者が約 90%、非利用者が約 10%であった。ほとんどの学生が LINE を利用していることが判明した。

文教大学学生の LINE 利用期間は、1 年半～2 年未満が約 39%と最も高く、次いで 1～1 年半未満が約 24%、6 カ月～1 年未満が約 19%であった。LINE ユーザーの 6 割以上が 1 年以上 LINE を利用している。

文教大学生の 1 日の LINE 利用時間を示したものが図 2-2-2 である。LINE 利用時間は、10～30 分未満が約 24%と最も高く、次いで 1～10 分未満が約 21%、30 分～1 時間未満が約 17%、1～1 時間半未満が約 13%と続く。30 分未満の利用者が約 4 割を占めており、驚くべきことに 3 時間以上と回答したヘビーユーザーも全体の約 8%見られた。

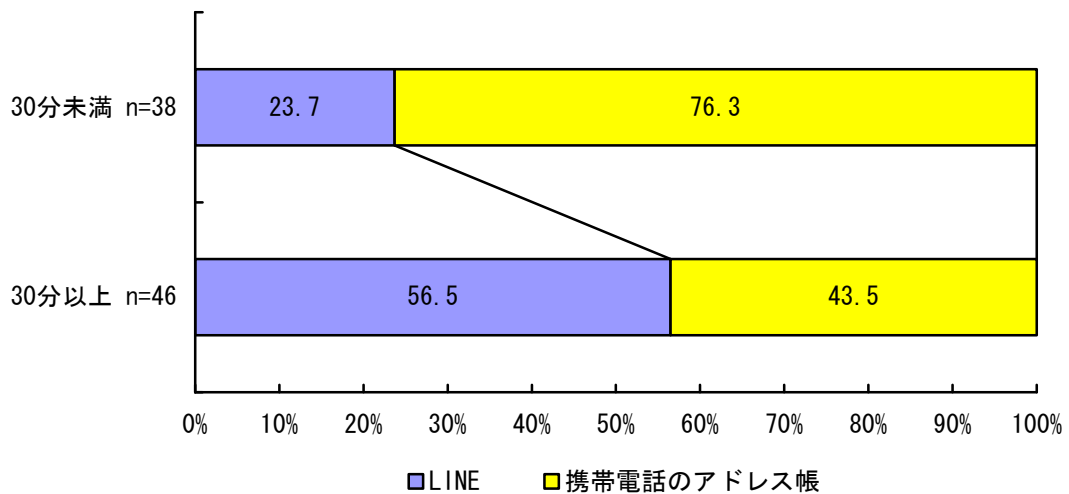
図2-2-2 1日のLINE利用時間



(3)連絡先登録数

LINE 利用時間と登録者数が最多のものとの関係を示したものが図 2-2-3 である。LINE 利用時間が 30 分未満のグループと、30 分以上のグループでは、登録連絡先最多のものに有意差がある。30 分未満のグループでは、携帯電話のアドレス帳が約 76%と最も高く、30 分以上のグループでは、LINE が約 57%と最も高かった。LINE の利用時間が長いほど、携帯電話のアドレス帳登録連絡先よりも LINE の登録連絡先の方が多いたことが判明した。

図2-2-3 LINE利用時間と登録連絡先最多のもの (χ²乗:**)

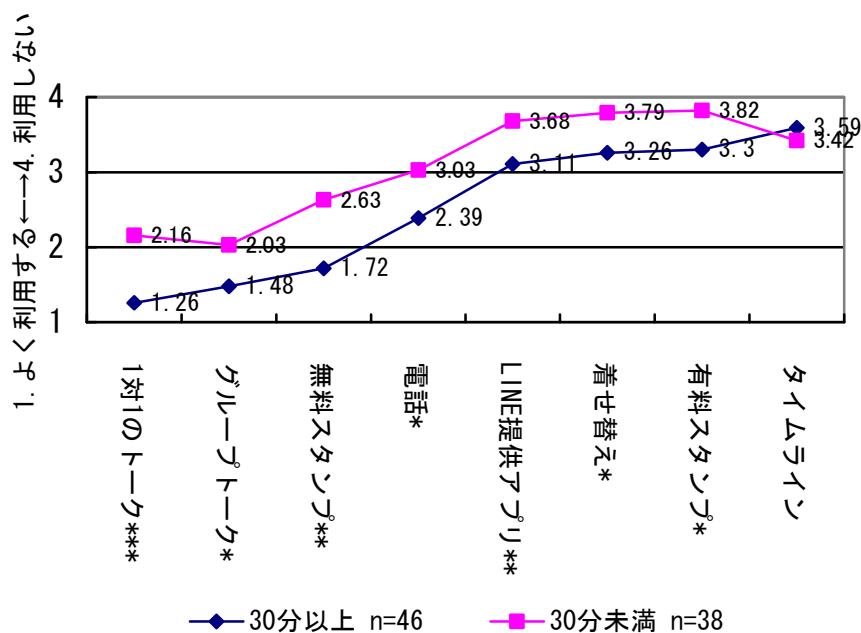


(4)機能

LINE の利用機能 8 個を設定し、「1.よく利用する」～「4.利用しない」の 4 段階で回答を得た。LINE 利用時間が「30 分未満」と「30 分以上」の各グループの平均で各機能の利用度合を調べ、LINE 利用時間と利用機能の関係性を分析したものが図 2-2-4 である。

結果は、タイムライン以外の各機能が「30 分未満」のグループよりも「30 分以上」の方が利用する傾向にあることが分かった。タイムライン以外の機能すべてにおいて、グループ間に有意差が見られた。また、この図から、両グループ間の利用差は、特に利用度合いの高い「1対1のトーク」、「グループトーク」、「無料スタンプ」の 3 機能の差であることが分かる。

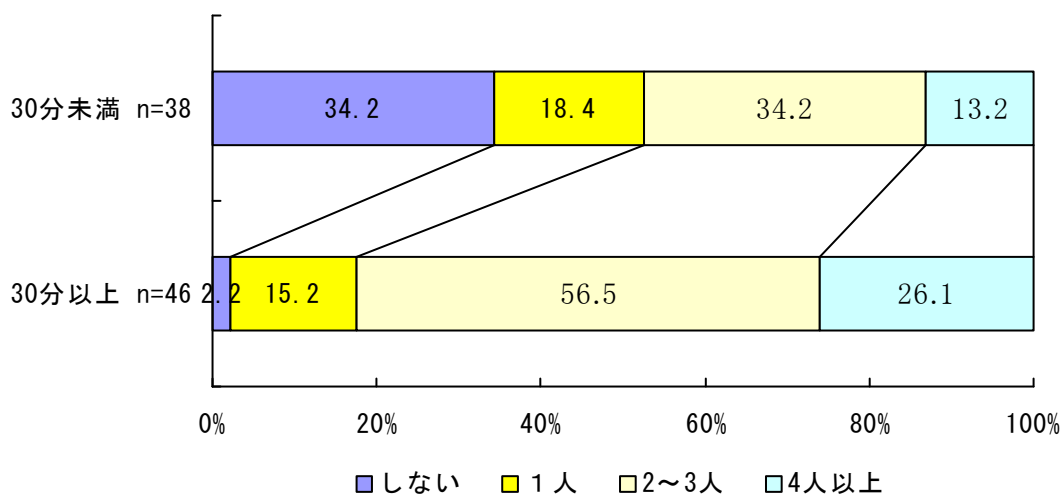
図 2-2-4 LINE利用時間と機能利用度合



(5) トーク人数

LINE 利用時間と 1 日の 1 対 1 トーク人数の関係を示したものが図 2-2-5 である。LINE 利用時間が 30 分未満のグループと、30 分以上のグループでは、1 日の 1 対 1 トーク人数に有意差がある。30 分未満のグループでは、「しない」、「2~3 人」がともに約 34%と最も高いのに対し、30 分以上のグループでは、「2~3 人」が約 56%と最も高く、次いで「4 人以上」が約 26%であった。また、30 分未満のグループで最も高い割合を示した「しない」が 30 分以上のグループでは約 2%と最も低い割合であった。LINE 利用時間が短い人ほど 1 日の 1 対 1 トーク人数が少なく、LINE 利用時間が長い人ほど 1 日の 1 対 1 トーク人数が多いことが分かる。

図2-2-5 LINE利用時間と1日の1対1トーク人数 (χ^2 乗:**)



2. 3 トーク内容

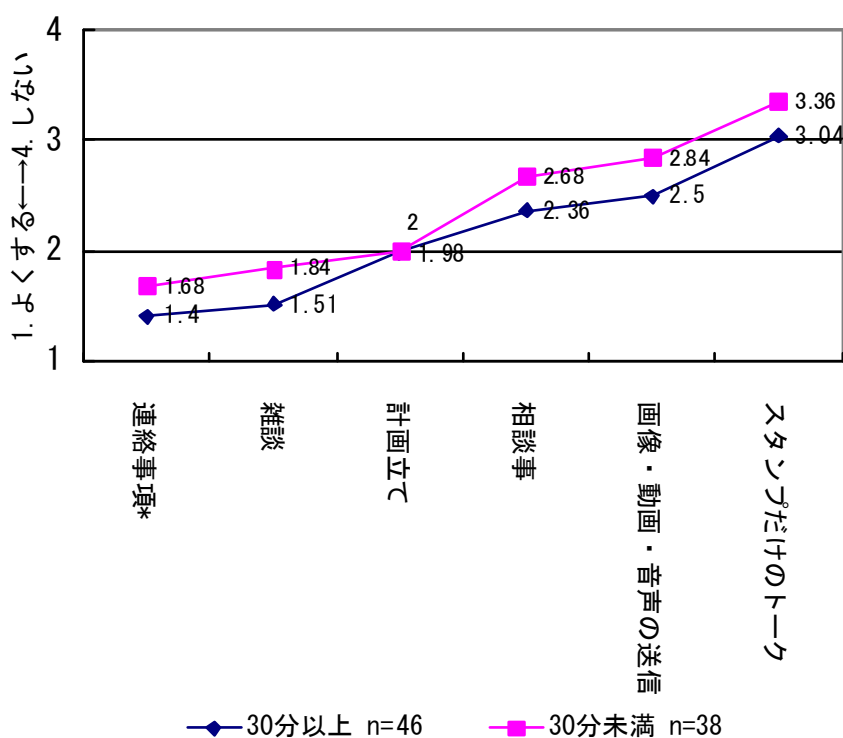
(1)1対1トーク

1対1トーク内容を6個設定した。これらに対して、1日のLINE利用時間が「30分未満」と「30分以上」の各グループに、「1.よくする」～「4.しない」の4段階で回答を得た。これらの回答に対し、グループの平均で各トーク内容の頻度を調べ、利用時間と1対1トーク内容の関係を分析したものが図2-3-1である。

結果は、トーク内容すべてにおいて「30分未満」のグループよりも「30分以上」のグループの方がよくする傾向にある。また、「30分未満」と「30分以上」のグループでは、「連絡事項」に有意差が見られた。

「30分未満」と「30分以上」のグループともに、「連絡事項」、「雑談」、「計画立て」がよくする傾向にあり、「スタンプだけのトーク」は、両グループともにしない傾向にある。全体的に両グループの傾向は似ていることが判明した。「連絡事項」では有意差が見られたものの、1対1トーク内容とLINEの利用時間には大きな関連性は見られなかった。

図 2-3-1 LINE利用時間と1対1トーク内容



(2)グループトーク

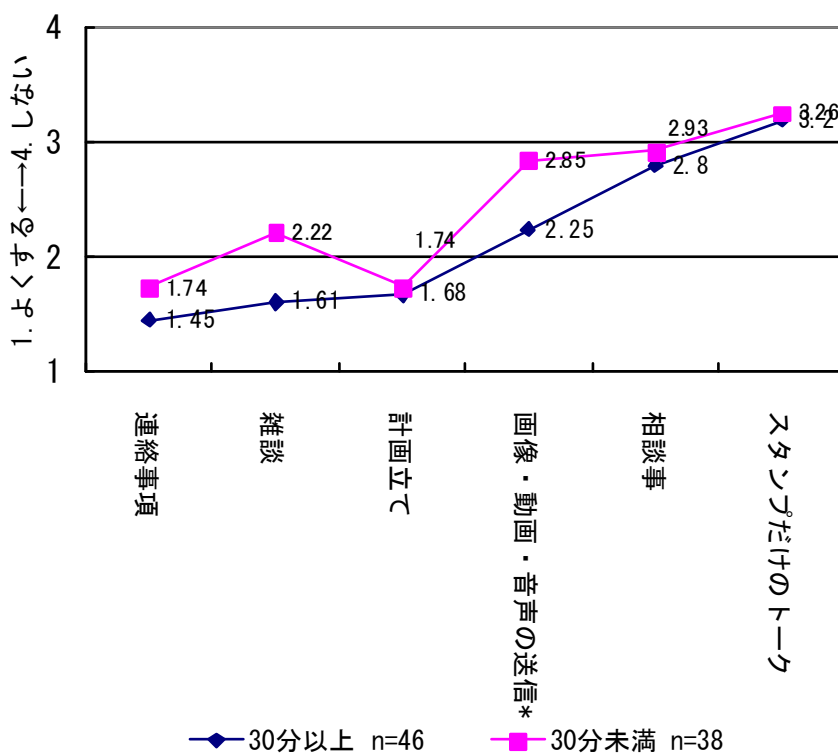
グループトーク内容を6個設定した。これらに対して、1日のLINE利用時間が「30分未満」と「30分以上」の各グループに、「1.よくする」～「4.しない」の4段階で回答を得た。これらの回答に対し、グループの平均で各トーク内容の頻度を調べ、利用時間とグループトーク内容の関係性を分析したものが図2-3-2である。

結果は、トーク内容すべてにおいて「30分未満」のグループよりも「30分以上」のグループの方が「よくする」傾向にある。また、「30分未満」と「30分以上」のグループでは、「画像・動画・音声の送信」に有意差が見られた。「雑談」では、有意差は見られなかったものの大きな差が見られた。

「30分未満」と「30分以上」のグループともに、「連絡事項」、「計画立て」はよくする傾向にあり、「相談事」、「スタンプだけのトーク」はしない傾向にあった。

グループトークでは、「雑談」や「画像・動画・音声の送信」のような親密なトーク内容はLINE利用時間が長い人ほどよくする傾向にあり、LINEの利用時間が短い人は、「連絡事項」や「連絡事項」のような事務的なトーク内容をよくする傾向にある。

図 2-3-2 LINE利用時間と1対1トーク内容



2. 4 LINE のメリット・デメリット

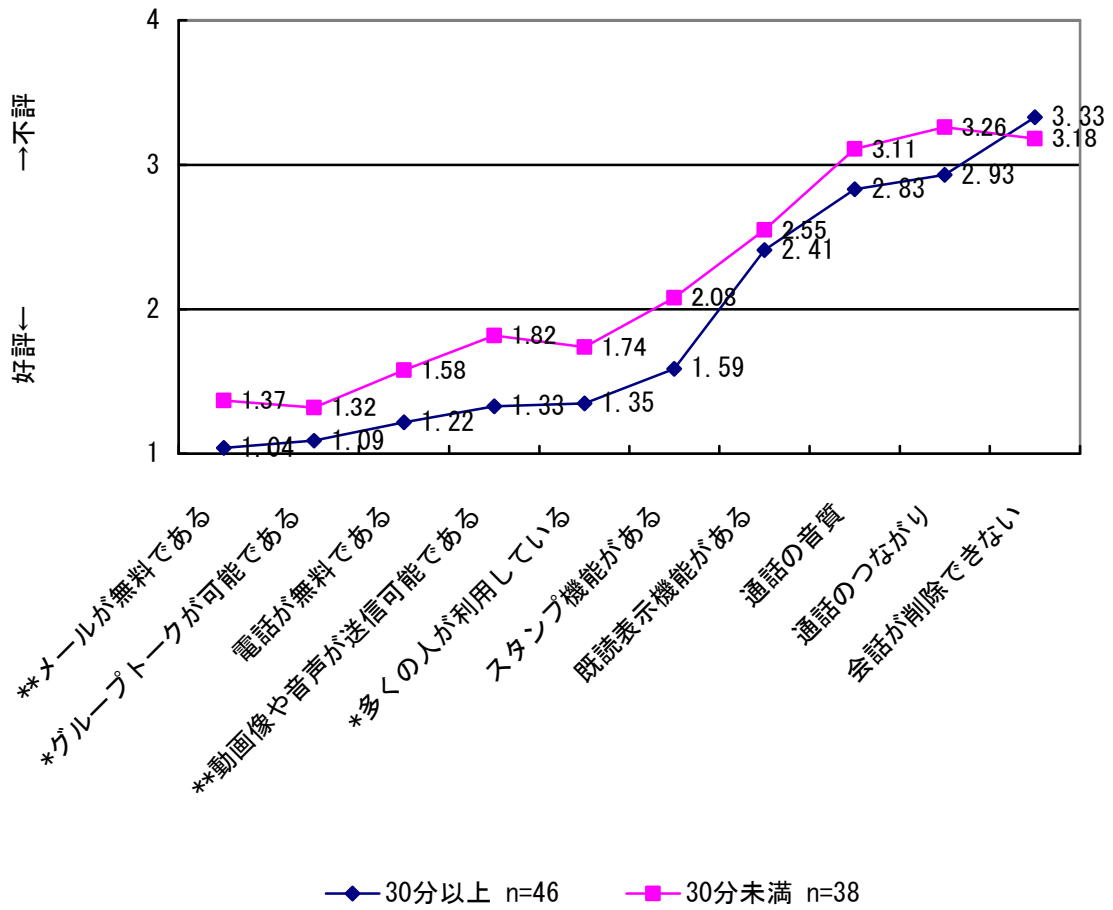
LINE のメリット・デメリットを 10 個設定した。これらに対して、1 日の LINE 利用時間が「30 分未満」と「30 分以上」の各グループに、「1.好評」～「4.不評」の 4 段階で回答を得た。これらの回答に対し、グループの平均で各メリット・デメリットの満足度を調べ、LINE 利用時間とグループトーク内容の関係性を分析したものが図 2-4-1 である。

結果は、「会話が削除できない」以外のすべてにおいて、「30 分未満」のグループよりも「30 分以上」のグループの方がよくする傾向にある。また、「30 分未満」と「30 分以上」のグループでは、「メールが無料である」、「多くの人が利用している」、「動画像や音声を送信可能である」に有意差が見られた。そのほか、有意差は見られなかったものの「スタンプ機能がある」においても大きな差が見られた。

「30 分未満」のグループでは、「グループトークが可能である」が最も高評価で、「通話のつながり」が最も低評価であった。「30 分以上」のグループでは、「メールが無料である」が最も高評価で、「会話が削除できない」が最も低評価であった。

LINE の利用時間が短い人ほど、「グループトーク」を高く評価しており、利用時間の長い人ほど「メールが無料」であることを高く評価していることが判明した。また、デメリットでは、LINE 利用時間の短い人は「通話のつながり」と電話機能に対するデメリットを、LINE の利用時間の長い人は「会話が削除できない」とメール機能に対するデメリットを感じていることが判明した。

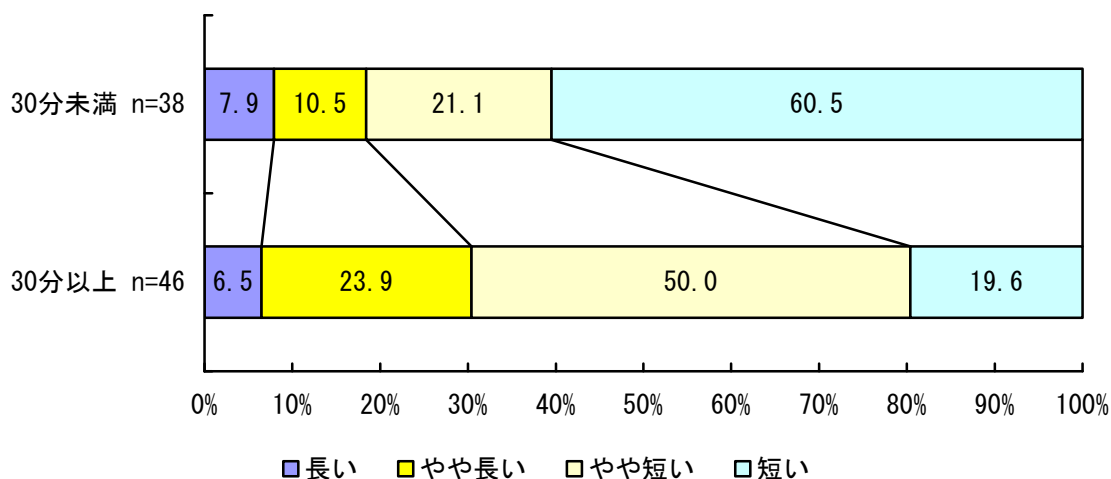
図 2-4-1 LINE利用時間とメリットデメリット



2. 5 その他の特徴

(1)LINE と現実のコミュニケーション

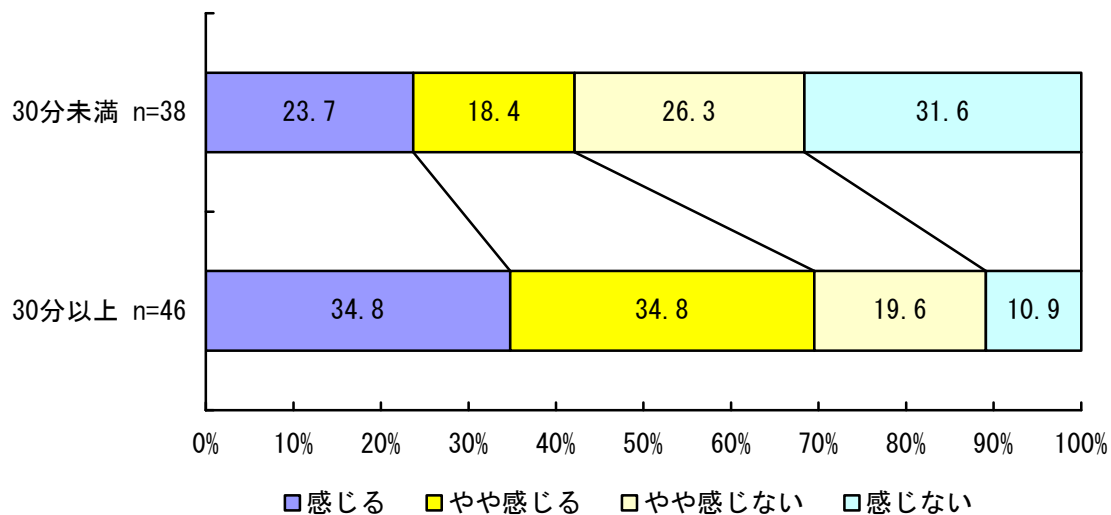
図2-5-1 LINE利用時間と会って話す時間よりLINEが長い傾向
(χ^2 乗:**)



LINE の利用時間と「q19a.実際に会って話す時間より、LINE で話す時間の方が長い」のあてはまり具合の関係を示したものが図2-5-1である。実際にLINE の利用時間が30分未満のグループと、30分以上のグループでは、「q19a.実際に会って話す時間より、LINE で話す時間の方が長い」のあてはまり具合に有意差がある。30分未満のグループよりも、30分以上のグループの方が多い。ちなみに「短い」の回答率は、30分未満のグループでは過半数を越えているが、30分以上のグループでは約2割であった。LINE の利用時間が長い人ほど、実際に友達に会って話す時間よりもLINE で話す時間の方が長いと言える。

(2)既読機能に対するプレッシャー

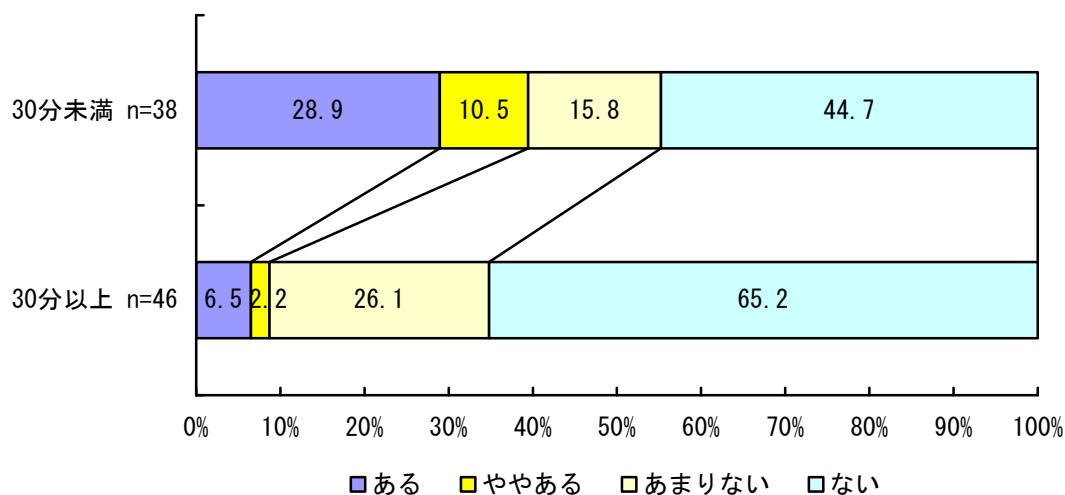
図2-5-2 LINE利用時間と既読に対するプレッシャーの有無



LINE 利用時間と「q19f.既読をつけたら返事を返さなければならぬと感じたことがある」の関係を示したものが図 2-5-2 である。有意差は見られなかったものの、30 分未満のグループでは、「感じない」と「やや感じない」で約6割を占めており、30 分以上のグループでは、「感じる」と「やや感じる」で約7割を占めている。LINE の利用時間が長い人ほど既読に対するプレッシャーを感じていると言える。

(3)LINE の利用に関して

図2-5-3 LINE利用時間とLINE利用中止願望(χ²乗:*)



LINE 利用時間と LINE の利用をやめようと思ったことがあるかの有無の関係を示したものが図 2-5-3 である。LINE の利用時間が 30 分未満のグループと、30 分以上のグループでは、LINE の利用をやめようと思ったことがあるかの有無に有意差がある。

30 分未満、30 分以上のグループともに「ない」の割合が最も高いものの、「ある」の割合は 30 分未満のグループでは約 29%と、30 分以上のグループの約 7%を大きく上回っている。LINE 利用時間の短い人ほど、LINE の利用をやめようと思ったことがあり、LINE 利用時間の短い人ほど LINE の利用をやめようと思ったことがないことが判明した。

第3章 まとめと今後の課題

3.1 まとめ

文教大学生の約9割がLINEを利用していることから、LINEは大学生にとって欠かすことのできないコミュニケーションツールであるといっても過言ではない。また、LINEの利用期間をみても半年～2年未満の割合が高く、いかに急速に普及したのかがうかがえる。

LINEは誰もが利用しているコミュニケーションツールとして断固たる地位を確立した一方で、LINEの利用時間は人によって大きく異なり、ライトユーザーとヘビーユーザーに大きく分かれていることをこの調査で検証することができた。そしてそれをあらしめている原因も明らかになった。

LINEの機能の利用度合いでは、ほぼすべての機能においてライトユーザー、ヘビーユーザー間で有意差が見られた。特に「1対1のトーク」、「グループトーク」、「無料スタンプ」の3機能の利用度合いが高く、「1日の1対1トーク人数」においてもライトユーザー、ヘビーユーザー間で有意差が見られた。以上のことからLINEの機能そのものがライトユーザーとライトユーザーの壁を隔てていると言える。

また、ライトユーザーは、1対1トークよりもグループトークをよくする傾向にあることが判明した。グループトークでは「連絡事項」や「計画立て」のような事務的なトーク内容が多く、「雑談」などの親密なトークをしない傾向が高い。また、グループトークの満足度が高く、グループで何か決め事をするときにはLINEを利用するが、その他の場面では利用率が低いことがわかった。周りの人がLINEを利用しているから使わざるを得ないのが現状のようだ。

ヘビーユーザーは、1対1のトーク、グループトークともに利用率が高く、内容においても、「連絡事項」や「計画立て」はもちろん「雑談」などもよくしていることが判明した。さらに、実際に会って話す時間よりもLINEで話す時間の方が長いと回答した人はヘビーユーザーの約3割も占めていたことから、ヘビーユーザーは、LINEがコミュニケーションの中心にある傾向が高いと思われる。また、既読表示機能に対するプレッシャーを感じたことがあるヘビーユーザーは7割もいるのにもかかわらず、LINEの利用をやめようと思ったことのあるヘビーユーザーは1割にも満たない。LINEに対するデメリットを感じつつもLINEに依存をせざるを得ないのが現状のようだ。

3. 2 今後の課題

今回の調査では、LINE のライトユーザーに対する仮説や設問を、ヘビーユーザーと同じボリュームにできなかった。今後、ライトユーザーとヘビーユーザーのようにグループから検証を行う調査では、事前に各グループ同じバランスになるように仮説や設問を設置したい。

参考文献

(1)(文献データ a) Yahoo!ニュース

『大学生の半数近くが「LINE 疲れ」を感じる、「既読」でプレッシャーも』

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130620-00000047-impress-sci>

(2)(文献データ b) Business Media 誠

『大学生に聞く、LINE の「既読」 どう思う?』

<http://bizmakoto.jp/makoto/articles/1306/20/news063.html>

(3) (文献データ c) Daily Research

『通話アプリを使う人のうち、80%以上がラインをもっともよく使う』

<http://japan.internet.com/research/20130730/1.html>

(4)TECHWAVE

『急成長「LINE」の真実、一周年記念独占インタビュー』

<http://techwave.jp/archives/51742831.html>

(5)毎日新聞 7月30日(火)15時1分配信

『<LINE> 9割利用、2割トラブル 10代50人に聞く』

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130730-00000042-mai-soci>

(6)産経新聞

『供述の嘘、LINE で露見 自首のきっかけも LINE 広島16歳少女死体遺棄事件』

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1307/29/news047.html>

(7) (LINE 概要) NAVER プレスリリース

『全機種・全キャリア対応グループコミュニケーションサービス「LINE」提供開始』

http://about.naver.jp/press/press_detail?docId=272

資料 1. 調査の単純集計結果

LINE の利用頻度とコミュニケーションに関する調査 2013. 10

「社会調査Ⅲ」の授業のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

問1 あなたが所持している携帯電話はどれですか。(1つに○) n=93

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. スマートフォン 96.8 | 2. ガラパゴス携帯 3.2 |
|-----------------|----------------|

問2 あなたが利用している携帯電話会社はどれですか。(1つに○) n=93

- | | | | |
|----------------|------------|------------------|------------|
| 1. docomo 32.3 | 2. au 39.8 | 3. SoftBank 25.8 | 4. その他 2.2 |
|----------------|------------|------------------|------------|

問3 登録者数が最も多いものはどれですか。(1つに○) n=93

- | | | |
|--------------|--------------------|-----------------|
| 1. LINE 37.6 | 2. 携帯電話のアドレス帳 60.2 | 3. PCのアドレス帳 2.2 |
|--------------|--------------------|-----------------|

問4 あなたが最も利用するコミュニケーションツールはどれですか(1つに○) n=93

- | | | |
|--------------|-------------------|------------------|
| 1. アプリ 80.6 | 2. 携帯電話のメール機能 7.5 | 3. 携帯電話の電話機能 3.2 |
| 3. PCメール 1.1 | 4. その他 7.5 | |

問5 あなたが最も利用しているアプリはどれですか。(1つに○) n=93

- | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|--------------|
| 1. Twitter 45.2 | 2. Facebook 1.1 | 3. LINE 40.9 | 4. Skype 4.3 |
| 5. mixi 3.2 | 6. Instagram | 7. その他 4.3 | 8. 無回答 1.1 |

問6 あなたが利用したことのあるLINE以外の通話アプリはどれですか。(すべてに○) n=93

- | | | | |
|----------------|----------------|--------------|--------------|
| 1. Skype 54.8 | 2. カカオトーク 14.0 | 3. comm 3.2 | 4. Viber 1.1 |
| 5. 050plus 3.2 | 6. その他 1.1 | 7. 利用なし 33.3 | 8. 無回答 2.2 |

→問8へ

問7 あなたが最も利用している通話アプリはどれですか。(1つに○) n=63

- | | | | |
|--------------|---------------|------------|---------|
| 1. LINE 63.5 | 2. Skype 34.9 | 3. カカオトーク | 4. comm |
| 5. Viber | 6. 050plus | 7. その他 1.6 | |

問8 あなたはLINEを利用していますか。(1つに○) n=93

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1. はい 90.3 | 2. いいえ 9.7 | →問20へ |
|------------|------------|-------|

問9 あなたはLINEをどのくらい利用していますか。(1つに○) n=84

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 1. 1～3ヶ月未満 7.1 | 2. 3～6ヶ月未満 10.7 | 3. 6ヶ月～1年未満 19.0 |
| 4. 1～1年半未満 23.8 | 5. 1年半～2年未満 39.3 | |

問10 あなたの1日のおおよそのLINE利用時間を教えてください。(1つに○) n=84

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1～10分未満 21.4 | 2. 10～30分未満 23.8 | 3. 30分～1時間未満 16.7 |
| 4. 1～1時間半未満 13.1 | 5. 1時間半～2時間未満 9.5 | 6. 2～2時間半未満 4.8 |
| 7. 2時間半～3時間未満 2.4 | 8. 3～3時間半未満 | 9. 3時間半以上 8.3 |

問11 あなたはLINEで1日に1対1のトークを何人としますか。(1つに○) n=84

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|-------|
| 1. 1人 16.7 | 2. 2～3人 46.4 | 3. 3～4人 13.1 | |
| 4. 5～6人 3.6 | 5. 6人以上 3.6 | 6. しない 16.7 | →問13へ |

問12 あなたは1対1のトークをする時、以下のトークをどの程度しますか。(1つずつ〇)n=70

	よくする	ややする	あまりしない	しない	無回答
a. 雑談	57.1	27.1	11.4	4.3	
b. 連絡事項	61.4	30.0	5.7	2.9	
c. 相談事	18.6	31.4	34.3	15.7	
d. 計画をたてる	35.7	38.6	17.1	8.6	
e. スタンプだけのトーク	4.3	18.6	34.3	42.9	
f. 画像・動画・音声の送信	14.3	30.0	32.9	21.4	1.4

問13 あなたはLINEで1日にグループトークをいくつのグループとしますか。(1つに〇) n=84

1. 1グループ 26.2	2. 2～3グループ 42.9	3. 3～4グループ 7.1
4. 5～6グループ 1.2	5. 6グループ以上 2.4	6. しない 15.5 →問15へ
7. 無回答 4.8		

問14 あなたはグループトークをする時、以下のトークをどの程度しますか。(1つずつ〇) n=71

	よくする	ややする	あまりしない	しない
a. 雑談	45.1	32.4	15.5	7.0
b. 連絡事項	56.3	33.8	7.0	2.8
c. 相談事	18.3	11.3	38.0	32.4
d. 計画をたてる	50.7	35.2	7.0	7.0
e. スタンプだけのトーク	8.5	9.9	32.4	49.3
f. 画像・動画・音声の送信	22.5	31.0	22.5	23.9

問15 あなたは以下の相手とどの程度LINEでトークしますか。(1つずつ〇) n=84

	よくする	ややする	あまりしない	しない	無回答
a. 友人	70.2	19.0	7.1	2.4	1.2
b. 先輩	13.1	20.2	39.3	26.2	1.2
c. 家族	14.3	19.0	20.2	45.2	1.2
d. あまり親しくない人	2.4	3.6	28.6	64.3	1.2
e. LINEだけの友人	2.4	2.4	8.3	84.5	2.4

問16 LINEの有料スタンプの購入数(プレゼントを含む)を教えてください。(1つに〇) n=84

1. 購入したことがない 77.4	2. 1つ 10.7	3. 2つ 6.0
4. 3つ 2.4	5. 4つ	6. 5つ以上 3.6

問17 LINE機能の利用度合を教えてください。(1つずつ〇) n=84

	よくする	ややする	あまりしない	しない
a. 1対1のトーク	57.1	22.6	16.7	3.6
b. グループトーク	51.2	31.0	11.9	6.0
c. 電話	16.7	23.8	34.5	25.0
d. 無料スタンプの利用	41.7	22.6	16.7	19.0
e. 有料スタンプの利用	6.0	9.5	9.5	75.0
f. タイムライン	2.4	13.1	15.5	69.0
g. LINEが提供しているアプリ	8.3	10.7	16.7	64.3
h. 着せ替え	3.6	9.5	20.2	66.7

問18 LINEについて4段階評価して下さい。(1つずつ〇) n=84

	よい	ややよい	あまりよくない	よくない
a. メールが無料である	83.3	15.5		1.2
b. 電話が無料である	71.4	20.2	7.1	1.2
c. グループトークが可能である	82.1	16.7	1.2	
d. スタンプ機能がある	47.6	35.7	4.8	11.9
e. 多くの人利用している	60.7	29.8	6.0	3.6
f. 動画画像や音声送信可能である	59.5	31.0	4.8	4.8
g. 既読表示機能がある	22.6	26.2	32.1	19.0
h. 会話が削除できない	6.0	7.1	41.7	45.2
i. 通話の音質	7.1	21.4	40.5	31.0
j. 通話のつながり	4.8	20.2	36.9	38.1

問19 下記の項目ごとにあなたの当てはまり具合を教えてください。(1つずつ〇) n=84

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 実際に友達に会って話す時間より、LINEで話す時間の方が長い。	7.1	17.9	36.9	38.1	
b. 携帯のアドレスよりもLINEのIDの方が教えやすい。	35.7	29.8	9.5	25.0	
c. 企業のアカウントを友達登録している。	22.6	13.1	17.9	46.4	
d. 自分からLINEで連絡することがない。	11.9	23.8	45.2	19.0	
e. 既読機能は必要だと思う。	7.1	27.4	39.3	23.8	2.4
f. 既読をつけたら返事を返さなければならぬと感じたことがある。	29.8	27.4	22.6	20.2	
g. LINEの利用をやめようと思ったことがある。	16.7	6.0	21.4	56.0	
h. 周りの友人はLINEを利用している。	85.7	8.3	2.4	3.6	

問20 あなたはサークル・部活動に所属していますか。(1つに○) n=93

1. している 68.8	2. していない 31.2 →F1へ
--------------	--------------------

問21 あなたが所属しているサークル・部活動の人数を教えてください。(1つに○) n=63

1. 2～10人 7.9	2. 11～20人 17.3	3. 21～30人 19.0
4. 31～40人 6.3	5. 41～50人 7.9	6. 51～60人 6.3
7. 61～70人 3.2	8. 71～80人 7.9	9. 81人以上 27.0

F1. あなたの性別を教えてください。(1つに○) n=93

1. 男 62.4	2. 女 37.6
-----------	-----------

F2. あなたの世帯状況を教えてください。(1つに○) n=93

1. 一人暮らし 57.0	2. 実家暮らし 39.8	3. その他 3.2
---------------	---------------	------------

F3. あなたの学年を教えてください。(1つに○) n=93

1. 1年生 48.4	2. 2年生 32.3	3. 3年生 19.4	4. 4年生
-------------	-------------	-------------	--------

F4. あなたの学科を教えてください。(1つに○) n=93

1. 広報学科 23.7	2. 経営情報学科 3.2	3. 情報システム学科 62.4
4. 国際理解学科 4.3	5. 国際観光学科 6.5	6. 管理栄養学科

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。